

総看だより

vol. 8

2022年3月22日

会長挨拶 会長 黒木留美子 (第一看護科 第9回生・椋山女学園大学看護学部)



同窓会会員の皆様には各分野でますますご活躍のことと思います。私は、総看の卒業生であるとともに母校の教員として勤務してまいりました。

定年を迎えた令和2年度は、『新型コロナウイルス感染症』のため世の中が非常事態となり、年度初めから終わりまで、授業や臨地実習の調整に追われる大変な年となりました。感染防止物品が不足する中、同窓会から消毒薬や非接触型体温計等を寄付して頂き同窓会の有難味を痛感する年でもありました。

今や会員数は6,300人余りとなっています。そんな歴史と伝統を誇る母校の同窓会会長という役割を担い、責任の重さを感じております。令和3年12月に、名古屋市公会堂で総看創立50周年記念式典が開催され出席

させて頂きました。創立当時の白黒写真に始まり、懐かしい「50年のあゆみ」が上映され、卒業生の一人として大変感激いたしました。また「卒業後のあゆみ」というテーマで3名の卒業生の方々のご講演をお聴きし、ご活躍の現状を目の当たりにしました。

同窓生の絆は深く、実習病院においても先輩たちの後輩に対する優しい声掛けや思いやりが感じられます。そんな関係が未永く受け継がれているのを感じます。

今後は役員の皆様と協力し、会員の皆様の近況を伝え親睦を図るとともに、在校生の皆様が良い学習環境で学べるように尽力したいと思います。微力ながらも何らかの形で貢献できたらと考えております。

同窓会のネットワークを大いに活用し、気軽に皆様に参加して頂けるような同窓会を目指しますので、今後とも皆様の温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校長挨拶 学校長 出石 敬子



愛知県立総合看護専門学校同窓会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本校は昭和46年に開校し昨年創立50周年を迎えました。この50年の間に約8,000人以上の卒業生を輩出し、卒業生の多くは保健・医療・福祉の分野で活躍をされ、海外で活躍されている方もおられます。人々の健康に深く関わっておられることを誇りに思います。

昨年12月には、愛知県知事を迎えて創立50周年記念式典を名古屋市公会堂で開催しました。卒業生の方々から「卒業後のあゆみ」として在校生へ心暖まる励ましの講演を頂きました。講演される方の在学時代の姿も垣間見え、在校生からの質問にもこころよく対応いただきました。同窓生の繋がりが強いのも本校の特徴です。それは定期的に総会を開催され、同窓生が

集まる機会を設けられているからだと思います。今後も継続されることを願います。

創立50周年に際し、同窓会からは体育館壁掛け時計と校旗五脚台を寄贈いただきました。また、新型コロナウイルスの蔓延により感染対策物品が市中に不足した時にはアルコールや非接触型体温計等を寄付いただきました。卒業後も母校に関心を寄せていただいていることに感謝します。

本校は昨年から今年にかけ、校舎の長寿命化工事を行います。インターネット環境を整備し遠隔授業の充実を図ります。保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更により新しいカリキュラムになります。学習環境や教育内容を整備し運営してまいります。

同窓生の皆様の一層のご活躍を祈念するとともに、変わらない本校へのご支援をお願いいたします。

時代を担うナースパワー

コロナ禍を生きる ~ウイズコロナ~

聖霊病院 古城 敦子 (臨床看護学第二科 第5回生)



開学50周年おめでとうございます。
私は卒後、名古屋第二赤十字病院に勤務し、2019年3月に退職、日赤では地域医療連携に携わっていたこともあり、現在は聖霊病院の地域医療連携セ

ンターで勤務しております。

コロナ禍において、生活環境が著しく変化してきた今、学校で学んだ看護の原点を思い出し、ウイズコロナ時代を見据えた地域医療連携のあり方、看護のあり方を考え、変化に対応していくことが課題と考えています。

30年がん看護に携わって

愛知県がんセンター 戸崎加奈江 (第二看護科 第19回生)



私は卒業してからずっとがん患者さんにかかわって働いています。この30年でがん治療・看護はどんどん変化しています。新薬の開発による治療やロボット手術、ゲノム診断などの治療だけでなく、患者さんにかかわる様々な問題(身体面・精神面・社会面)へのケアを患者さんを中心にチームで支

える医療が行われています。30年の年月で、私の役割や立場も変わりました。がん化学療法看護認定看護師を取得し、薬物療法を受ける患者さん・家族への支援を行うことから、看護管理者となり直接的な実践を行うことは少なくなりました。「患者さんを中心に」というのは看護師を目指した時からの私の看護の根底にあるものです。この思いを大切に頑張っています。

「笑顔のある、あなたらしい人生を」届ける

Footage 訪問看護ステーション守山店名城公園店 エリアサポーター 山口 雄太 (第一看護科 第41回生)



名古屋市千種区で2019年1月にFootage訪問看護ステーションを立ち上げました。立ち上げ当初は私を含めて20代といった若い男性看護師4名での開設でしたが、地域の方々に支えられながら、2022年8月にはFC店舗を含めて5店舗目が開設予定です。

皆様に「笑顔のある、あなたらしい人生を」届けるため、日々奮闘しています。「自主経営組織」といった組織形態をとっており、ステーションの運営や広報など一緒に働くスタッフを巻き込みながら様々な事にチャレンジしています。

私自身も管理者を経験し、今年度からは複数店舗のサポーターとして活動していきます。

寄り添う姿勢を大切に

愛知県医療療育総合センター 下元 智里 (第一看護科 第45回生)



愛知県医療療育総合センターに就職し、4年目になりました。入職当初は目の前の業務に追われていましたが、周りをみながら、チームの一員・リーダーとして動くことができるようになってきました。昨年度、今年度とプリセプターと

して新人指導に関わることになり、指導の難しさを感じながら、私自身日々学ばせて頂いています。

今後、知識や技術の向上はもちろん、患者さんやその家族に寄り添う姿勢を大切にし、患者さんのわずかなサインや成長を見逃さず、個性に合わせた看護ができるよう日々努力していきたいと思っています。

総合看護専門学校の卒業生、そして教員としての思い出

黒木留美子 (第一看護科 第9回生)



私は、昭和54年4月に第一看護科の第9回生として、総合看護専門学校に入学しました。その頃は、保健科、第一、第二、第三、第四看護科の5課程があり200人の学生がいました。卒業後は、実習施設でもある名古屋第二赤十字病院の救急病棟に就職しましたが、縁あって平成5年4月に教員として母校に勤務することになりました。勤務後間もなく第二・第四看護科が閉科し、今では第一看護科の3年課程のみとなりました。

これまで母校の教員として、また同窓会の事務局員として多くの卒業生の方々にご協力頂きました。実習施設

に何うと、卒業生の方々が臨地実習指導者として学生達を温かく迎えてくださいました。定年を迎える令和2年度は、『新型コロナウイルス感染症』のため世の中が非常事態となり、年度初めから終わりまで、授業や臨地実習の調整に追われる大変な年となりました。また同窓会の有難味を痛感する年でもありました。感染防止物品が不足する中、消毒薬や非接触型体温計等を寄付して頂き大変助かりました。この場を借り心から感謝申し上げます。

令和3年度は、外部講師の一人として、『総看』に伺います。私のセカンドステージでも同窓会に何らかの形で貢献できたらと考えております。今後も同窓会のますますのご発展をお祈りいたします。

同窓会総会報告

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期しておりました、令和2年11月実施予定の総会を令和3年11月13日(土) 感染対策を取り、役員のみでの出席で、総合看護専門校内で実施しました。令和3・4年度事業計画及び予算について承認を得ました。

平成30・令和1・2年度 歳入歳出決算書

(平成30年10月1日～令和3年9月30日)

愛知県立総合看護専門学校 同窓会

1. 歳入 (単位 円)

科目	予算額	決算額	差引額	備考
I. 入会金	1,230,000	1,745,000	515,000	5,000×349人
II. 雑収入	10,000	15,588	5,588	寄付、利子、利息、学校祭模擬店収入
III. 繰越金	2,723,383	2,723,383	0	
合計	3,963,383	4,483,971	△520,588	

2. 歳出

科目	予算額	決算額	差引額	備考
I. 会議費	300,000	30,280	269,720	
1 総会費	(200,000)	(0)	(200,000)	
2 役員会費	(100,000)	(30,280)	(69,720)	役員会6回分の旅費
II. 事業費	450,000	168,674	281,326	
1 同窓会懇親交流会費	(300,000)	(129,016)	(170,984)	食事、茶菓代
2 学校祭参加費	(100,000)	(23,258)	(76,742)	イベント協力者旅費、模擬店材料費、相談コーナーの景品等
3 卒業式花束	(15,000)	(16,400)	△1,400	46回生、47回生、48回生
4 その他	(35,000)	(0)	(35,000)	
III. 通信費	100,000	45,507	54,493	総会出欠席返送はがき・後納分、切手代金等
IV. 事務費	50,000	47,446	2,554	新型コロナウイルス感染症対策支援(体温計・消毒薬)
V. 積立金	1,800,000	0	1,800,000	創立50周年記念式典
VI. 会報誌費	1,220,000	196,800	1,023,200	会報誌・総会案内印刷・発送代、データ管理料(会報誌第8号未発刊)
VII. 予備費	43,383	0	43,383	
VIII. 繰越金	0	3,995,264	3,995,264	
合計	3,963,383	4,483,971	△520,588	

(総会1年延期のため3年分です)

令和3・4年度 予算

(令和3年10月1日～令和5年9月30日)

愛知県立総合看護専門学校 同窓会

1. 歳入 (単位 円)

科目	予算額	備考
I. 入会金	1,110,000	5,000×222人
II. 雑収入	10,000	寄付 利子
III. 繰越金	3,995,264	
合計	5,115,264	

2. 歳出

科目	予算額	備考
I. 会議費	300,000	
1 総会費	(200,000)	総会資料・たれ幕・看板代等
2 役員会費	(100,000)	役員会6回
II. 事業費	800,000	
1 同窓会懇親交流会費	(300,000)	
2 学校祭参加費	(85,000)	
3 卒業式花束	(15,000)	
4 50周年記念品	(300,000)	
5 その他	(100,000)	
III. 通信費	100,000	総会出欠席返送はがき・後納代、切手等
IV. 事務費	50,000	
V. 積立金	1,300,000	創立60周年に向けて積立
VI. 会報誌費	2,500,000	会報誌(第8・9刊)・総会案内印刷、封筒、発送代、データ管理料(2年分132,000円)
VII. 予備費	65,264	
合計	5,115,264	

同窓会の活動・総合看護専門学校近況

- 令和2・3年度3月に、卒業式で卒業生に花束を贈呈しました。
- 令和2年5月新型コロナウイルス感染症拡大防止支援として、手指消毒剤・非接触型体温計を贈呈しました。
- 令和3年12月15日(水)名古屋市公会堂で「創立50周年記念式典」が行われました。同窓会会長黒木留美子氏、前会長林恵子氏が同窓会代表として参加し、同窓会から体育館用掛け時計、校旗五脚台、会場の花を贈呈いたしました。



同窓会からのお願いとお知らせ

- 同窓生を探しています。

総看だよりがお手元に届かず、学校に戻ってくるものが多数あります。お知り合いの同窓生で卒業時の住所から移転され、総看だよりが届いていない方がいらっしゃいましたら、総合看護専門学校同窓会事務局に連絡をいただけるようお伝えください。

- 次回会報誌（第9号）発行は令和5年8月、次回総会は令和5年11月の予定です。

編集 後記

前回の総看だより（第7号：2018年8月8日発行）から3年7か月経ち、第8号を皆様にお届けするのが遅くなってしまいました。この2年間は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、同窓生の皆様との交流も少なく、同窓会の活動の場も少なかったです。しかし同窓会役員の皆様からも同窓生が、医療・保健・福祉の場で新型コロナウイルス感染症に立ち向かって頑張っている話をお聞きし、大変心強く同窓生を誇りに感じております。

今後も様々な場所で活躍している卒業生の近況をお伝えしたいと思います。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

編集委員

黒木留美子 鈴木菜穂子 篠原宏翠
平野さおり 石橋尚之 杉村英子

同窓会役員（令和3・4年度）

黒木留美子 林 美子 鈴木菜穂子
村木真紀 川地 愛 篠原宏翠
岡元洋子 船津昌弘 北川 篤
平野さおり 岡戸敏子 谷倉あす香
坂下将太 石橋尚之 塩山 操
来田沙登子 小野由季子 大見八千代
森真由美 竹内 圭 杉村英子